

様 式 F - 7 - 2

## 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 

1	4	6	0	3
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学
3. 研究種目名 挑戦的萌芽研究 4. 補助事業期間 平成26年度～平成28年度
5. 課題番号 

2	6	5	4	0	1	8	2
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 発達障害児のメディア・リテラシー育成のためのSNSプラットフォーム

## 7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
2 0 2 3 2 1 2 6	イイダ ハジム 飯田 元	情報科学研究科	教授

## 8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

## 9. 研究実績の概要

28年度は、27年度に実施した試作システム評価実験に基づき、オープンソースのコンテンツマネジメントシステムDrupalによる試作ソーシャルネットワークサービスに対する機能拡張を行なった。試作システムの機能拡張におけるモデルシナリオとしては、前年度同様、「レゴ・マインドストーム」を用いた療育プログラムを採用し、ビデオ投稿等の機能に加えて、保護者や療育者によるスーパーバイザ機能などの試作実装を進めた。

また、世界規模で活動を展開する自閉症支援組織（Autism Speaks）の定期会合に参加して、ICTによる自閉症児支援に関する全般的な情報収集をおこなった。

なお、28年度実施を予定していた再実験については、協力者の確保がうまく進まず実施の見通しが立たなかったため、27年度に行った利用実験の内容に対する詳細なレビューを実施することとした。この実験では、対象として4名の児童（健常者を含む）と保護者に参加してもらい、ファシリテータ1名（本学博士研究員）とティーチングアシスタント2名（本学博士前期課程学生）による制作指導を4回にわたり実施し、途中経過の報告や作品紹介ムービーの投稿などのタスクを行わせたが、その際に有効であったと思われるシステムの機能項目や、逆に不十分であったと思われる項目について、インタビューを主体にした定性的な分析を行なった。本評価結果は今後継続的にシステム拡張を行なう上での指針として有効活用される予定である。

## 10. キーワード

- (1) 自閉症 (2) SNS (3) 発達障害支援 (4) リテラシー教育  
 (5) 療育 (6) (7) (8)

(注) ・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷すること。

( 1 / 3 )

## 11. 研究発表

〔雑誌論文〕 計(0)件/うち査読付論文 計(0)件 (最終年度分)

/うち国際共著論文 計(0)件 (最終年度分) /うちオープンアクセス 計(0)件 (最終年度分)

著 者 名		論 文 標 題				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
オープンアクセス						

〔学会発表〕 計(0)件/うち招待講演 計(0)件 (最終年度分) /うち国際学会 計(0)件 (最終年度分)

発 表 者 名		発 表 標 題		
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所		

〔図書〕 計(0)件 (最終年度分)

著 者 名		出 版 社		
書 名			発行年	総ページ数

## 12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計(0)件 (最終年度分)

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計(0)件 (最終年度分)

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

## 13. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計(0)件 (最終年度分)

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

## 14. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究： -

## 15. 備考

--